

地域密着型特別養護老人ホームわかば  
令和 7 年度 第 4 回 運営推進会議

|     |    |
|-----|----|
| 施設長 | 作成 |
|     |    |

|        |        |                                                      |  |                         |  |
|--------|--------|------------------------------------------------------|--|-------------------------|--|
| 開催日時   |        | 令和 7 年 10 月 22 日(水)                                  |  | 午前 1 1 時～午前 1 1 時 4 0 分 |  |
| 開催場所   |        | 特別養護老人ホームわかば 1 階 会議・研修室                              |  |                         |  |
| サービス区分 |        | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護                                 |  |                         |  |
| 出席者の状況 | 委員（職種） | 委員数（ 10 ）名／出席（ 9 ）名                                  |  |                         |  |
|        |        | （利用者代表）                                              |  | （家族代表）                  |  |
|        |        | （地域代表）                                               |  | （市町村職員）                 |  |
|        |        | （第三者委員）                                              |  | －(知見を有する者)－             |  |
|        |        | （中央地域包括センター職員）                                       |  |                         |  |
|        | 職員（役職） | （特養わかばイースト施設長）                                       |  |                         |  |
|        |        | （特養わかば生活相談員）                                         |  |                         |  |
|        |        | （特養わかば施設長）                                           |  |                         |  |
| 報告事項   |        | 出席者紹介<br>● 活動状況報告<br>● サービスの質の向上にかかる事項<br>● その他、意見交換 |  |                         |  |

次第

出席者：別添資料（スライド⑳）に構成メンバーを記載。

第 4 回の開催にあたり、委員の（知見を有する者）が体調不良による欠席となる報告が行われた。

・ 地域密着型特別養護老人ホームわかばの活動状況報告

1. 活動状況報告（スライド③～⑤）

令和 7 年 8 月～令和 7 年 9 月度期間における稼働件数推移について報告。

・ 男女別稼働件数推移

8 月度、9 月度それぞれ入退空床の発生により 8 月度は満床に対し 9 8.1 %、9 月度は 9 8.2 %の稼働率での推移で終了。

・ ユニット別稼働件数推移

先述の入退に伴う空床が C ユニットと A ユニットで発生。

・ 要介護度別利用者数推移

8 月度、9 月度における大きな推移変化はないが、9 月末時点においては、1 室空室となる 2 8 名の在籍で終了。

2. ユニット別平均要介護度、平均年齢（スライド⑥）

施設全体平均要介護度は 4.1 (女性：4.2 男性：4.0)となる。

年代構成としては 7 0 歳代× 1 人、8 0 歳代× 9 人、9 0 歳代× 1 8 人となり百寿表

表彰対象者が3名在籍している。

- サービスの質の向上にかかる事項

### 3. 人員体制（スライド⑦）

介護職員に占める介護福祉士の割合（15名中12名＝80.0％）。

15名のうち、1名は産休取得中、1名は育児時短勤務。

実務者研修修了者1名、初任者研修受講予定者2名。

### 4. 事業所の取組み（スライド⑧）

- 嘱託医の往診 2回／月（隔週(第1・3)月曜日)
- 理美容サービス 1回／月（不定期で追加日程を設けている）
- セブンミール 2回／月（第2・第4木曜日）開催
- わかば祭り 9／20開催
- 長寿表彰 9／29開催
- 身体拘束廃止委員会 1回／月

毎月の月次部門会議において不適切なケアを含む該当事案がないことを確認された報告。また、やむを得ない事情の場合の手順や対応についても確認を実施していることも報告される。

- 見守り支援機器等活用委員会

使用中の機器の不具合報告に関して、マナーモード設定の見直し、落下による破損・汚損防止について検討されたこと、および連動するチェアセンサーとの併用の仕方について協議された報告が行われた。

- 行事等

百寿表彰の他、富士フイルム BI 秋田(株)様による社会福祉施設寄贈として各居室で活用される加湿器の受贈報告がされた。

### 5. 職員研修状況（スライド⑨）

年次研修実施報告として配布報告資料の通り。

※なお、研修に参加できない職員は全員レジュメに沿ったレポート提出を義務付ける。

### 6. 苦情、事故、ヒヤリハットについて（スライド⑩～⑬）

- ヒヤリハット報告

配布資料の通り。通期延べ報告件数としては10件。

- 事故報告

配布資料の通り。通期延べ報告件数としては30件。

- ヒヤリハット分類（通期）

内訳として転落・転倒・誤薬分類が15.4％、次いで異食・誤飲・その他が7.7％。車いす乗車姿勢が崩れやすい方が居にとリビングの自席において、臀部が車いす座面より半分程度落ちかけている状態を発見した報告。座面に低反発クッションを使用

していたが、クッションが前側にズレたため、身体も前ズレしたもの。座面とクッションの材質からすべり止めシートなどの活用に至る。

- 事故分類（通期）

内訳として外傷 45.2%、転落 32.3%、転倒 16.1%、誤飲 6.5%となる。居室からの物音に気づき訪室した際、床に座り込んでいるところを発見。尿失禁等でパッドが汚染され普段通り自ら交換しようとした際に転倒。左上腕近端骨折受傷。受傷部位の固定のための入院も検討されたが、精神疾患から入院せず施設療養となる報告。

## 7. 自己評価報告（スライド⑭～⑱）

- 共通項目 A：21項目、B：5項目

- 内容評価項目 A：8項目、B：4項目

以下の評点については、項目設問において、何もできていないことではなく、設問の仕方によって評価が変わってくることが課題として捉えている。

- 災害時の事業所の役割について、地域住民や自治体等をあらかじめ決めているか
- 日常生活自立支援事業や成年後見人との連携を常にとっている
- 家族、ボランティアや地域住民の参加を得る事などにより、活動の多彩化を図っている
- 食事に選択制を取り入れる工夫をしている
- 一人ひとりに応じた機能訓練のプログラムを作成し、実施、評価、見直しをしている

- 参加者からの意見・ご提案等について、

（中央地域包括支援センター）

- 特に提案や意見等がなく、配布した研修会等のご案内となる。

（市基幹包括支援センター職員）

- 施設における百寿表彰の報告があったが、本市では50名が対象。

（地域住民代表）

- 特に提案や意見等などなし。報道が頻繁となった熊の出没に対する住民からの声の有無について確認。クマよけスプレー等の準備や要望の声もない。少し前は蜂の駆除はあったが、シルバー人材等の情報提供に努めた。

（第三者委員）

- ヒヤリ・ハット報告と事故報告に関して、報告数自体が逆転しているのではとの意見。本来、治療が必要な事案を事故報告として扱うが、施設での考え方として、皮膚トラブルも本来ないものとすれば事故報告として扱う方針としているため、件数的には逆転しているように見えるとの施設側の見解を回答。

（相談員）

- ご利用者代表で参加されたお客様も百寿表彰。健康で元気に過ごせるようお手伝いを続けていく。

(特養わかばイースト施設長)

- 施設のインフルエンザ予防接種を10月上旬に実施し、今後2回目の接種を予定している。

次回の開催予定月は偶数月の12月度の開催として調整。